

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 5 号 (2017 年 9 月 11 日発行)

8 月に中国・内モンゴル自地区で開催されたアジア・ジュニア・ユース選手権において、日本チームがメダル 12 個を獲得する快挙を成し遂げました。

●本号の内容

- ・第 2 回アジア・ジュニア・ユース選手権大会報告
- ・アジア・ワーキング・グループ・ミーティング報告
- ・指導員制度の移行について
- ・コースプラン&リスクマネジメント研修会報告
- ・JOA 表彰の推薦について
- ・これからの講習会

●第 2 回アジア・ジュニア・ユース選手権大会報告 (強化委員会: 藤井)

2017 年 8 月 20 日から 24 日まで、中国・内モンゴル自地区で第 2 回アジア・ジュニア・ユースオリエンテーリング選手権 (AsJYOC) 大会が行われました。

この大会では 3 種目 3 階級がおこなわれ、日本チームは MW20 クラス男女混合スプリントリレーの連覇を含め、金メダル 3 個、銀メダル 3 個、銅メダル 6 個を獲得する好成績を残しました。

●8 月 21 日 スプリント

- M16 優勝 森清 星也
- M18 第 3 位 祖父江 有祐
- M20 第 3 位 稲森 剛
- W20 第 3 位 出田 涼子

●8 月 22 日 男女混合スプリントリレー

- MW16 第 3 位 丸山 里那子-国沢 琉-金子 隼人-古田島 鈴音
- MW18 第 2 位 落合 英那-祖父江 有祐-森清 星也-吉田 菜々子
- MW20 優勝 増澤 すず-柴沼 健-稲森 剛-宮本 和奏

●8 月 24 日 ミドルディスタンス

- M16 優勝 森清 星也
- M16 第 2 位 国沢 琉
- M20 第 2 位 稲森 剛
- M20 第 3 位 新田見 優輝
- W20 第 3 位 宮本 和奏

●アジア・ワーキング・グループ・ミーティング報告 (国際委員会: 落合公也)

8 月に中国で開催されたアジア・ジュニア・ユース選手権大会に合わせ、アジア・ワーキング・グループ・ミーティングが開催されました。

この会議はアジアの IOF 加盟国が集まり、アジアに関連した事項について話し合い、方針を決めていくものです。今回の参加国は、中国、香港、台湾、韓国、日本とオブザーバー参加のマカオです。また会議の主な内容は、今後のアジア選手権大会、アジア・ジュニア・ユース選手権大会のルールや開催地についてとアジアオリエンテーリングカップの創設が主なところでした。

まず 2019 年に開催される次回のアジア・ジュニア・ユース選手権大会は日本で開催されることになりました。これから運営主体を公募し開催についての詳細を詰めていくこととなります。メダルラッシュであった今回のアジア・ジュニア・ユース選手権大会以上の活躍を、日本代表選手には期待しましょう。

次にアジアオリエンテーリングカップの創設です。これは、アジアの各国で開催されるワールド・ランキング・イベント（WRE）を対象として、アジアの選手のランキングをつけるというものです。アジアの選手同士の切磋琢磨から選手強化につなげる狙いで始めることになりました。日本人選手がランキングを上げるには日本での開催が有効な手段となります。国内での WRE の開催にご協力ください。

●指導員制度の移行について（副会長：村越真）

現在の指導員制度は平成 4 年に旧制度から移行し、野外活動協議会 4 団体（キャンプ、サイクリング、ホステリング、オリエンテーリング）共同で制度設計したものです。インストラクター、ディレクター 2 級、1 級という 3 段階からなりますが、その名が示すように競技の指導を行うというよりも、野外活動の運営を支える人材育成をコアにしたものでした。その後平成 14 年に内容的な精査と実践的な内容・講習形式への変更を行い、現在に至っています。

現在、オリエンテーリングを取り巻く環境の変化や、競技スポーツとしてのオリエンテーリングの更なる発展を視野に入れ、日本体育協会の指導員制度への移行を前提に制度の検討を行っています。細部の検討は今後になりますが、図 1 に概略を示しました。

左にある「インストラクター」「ディレクター 2 級」「ディレクター 1 級」は現在の指導員制度。これらには、①普及、②競技力向上、③大会の運営という 3 つの側面があることから、それを踏まえた制度設計を行うと同時に、現在の指導員の興味関心に応じていずれかに移行できる枠組みを念頭においています。

まず、初心者への普及を主として担う「インストラクター」は JOA 独自の資格であり、初心者への普及を担います。同時に、最近様々なナビゲーションスポーツが増えたり、登山に必要なスキルとして読図力が注目されたりしていることから、オリエンテーリングに特化しないアウトドアナビゲーション全般を指導できる「ナビゲーションインストラクター」資格を H30 年度よりスタートさせます。

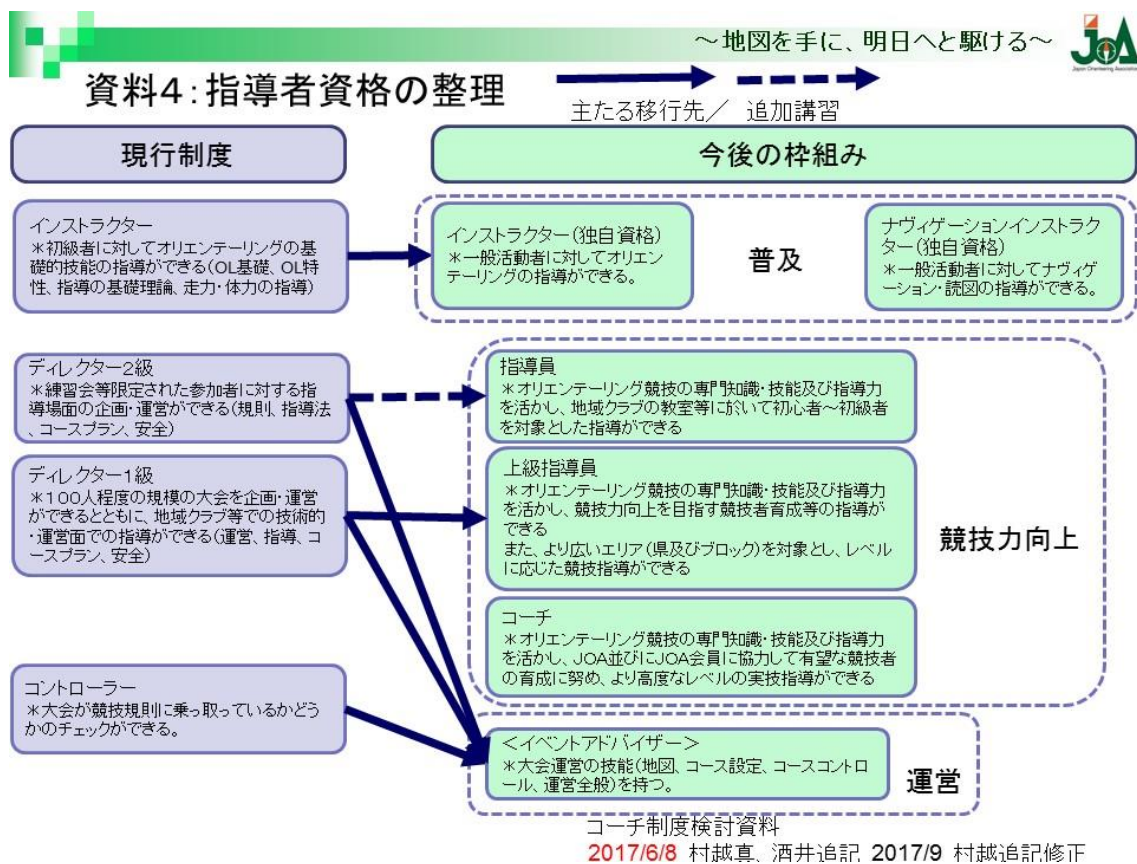
ディレクター 1、2 級については前述のように、運営的と競技力向上の両方の側面があることから、いずれの資格にも移行できるようにしました。運営に関わる資格として、これまで認定していた「コントローラ」と一体化させ、「イベントアドバイザー」（仮称）とします。オリエンテーリング活動の大きな比重を占めるイベント開催全般についての知識とスキルを持ち、大会運営を支えていける人材を確保します。

「指導員」「上級指導員」「コーチ」が、日本体育協会の制度に準拠した指導員資格です。詳細な制度設計は今後ですが、「指導員」については概ねクラブ（地域・大学）等で初心者から初級者を対象とした指導ができる知識とスキルを持った指導者育成を図ります。「上級指導者」は、クラブ等で競技力向上を目指す競技者の指導ができる指導者育成を図ります。コーチについては、有望な競技者の育成に活躍できるより高度な実技指導ができる人材を育成します。

今後この枠組みの中で、「移行講習内容の精査」「登録料など制度設計」など細部を検討し、H30

年度に移行講習、H31年度から新制度を実施する予定です。

制度移行へのご意見をいただくとともに、オリエンテーリングの発展に重要な役割を果たす指導員制度により多くの方々に参加されることを願っています。



●コースプラン&リスクマネジメント研修会報告(理事:愛場庸雅)

「オリエンテーリング大会の魅力と安全性を高めるために」と題して、大会を企画運営する人のための標記講習会を、7月1日に名古屋、8月13日に大阪で開催いたしました。名古屋では16名、大阪では20名の方が受講されました。

大阪講習会では、午前中は村越JOA副会長の講義とグループワークを行いました。オリエンテーリングの特性を把握した後、コースプランの原則、よいコースとは、発達段階や技術レベルに応じたコースプラン、について解説。実際に大会で使われたコースについて、その適性、問題点、改善案などを検討するとともに、地図上でM21Eのロングレグや、M15のためのコースを組む練習を行い、全員で供覧、評価しました。また、実際の大会でコースをどう組むかについて、大会コントローラ経験の豊富な小野田氏(京都府協会)に講演をしていただきました。

午後は、愛場(JOA理事・医師)が講義を行い、オリエンテーリング大会において起こりうる危険性と、それにどう対処するのがよいのかについて考えました。競技的な面から面白いコースを組むことと安全性に配慮することは、時にジレンマをもたらしますが、それを克服することもプランナーの腕の見せ所です。

オリエンテーリングのコースプランは深い経験と技術が必要とされます。一方で、トレインの特性を活かして大会の楽しさを演出し、安全にも配慮した上で参加者の深い満足感を引き出すことは、創造性にあふれたとても楽しい仕事でもあります。大会運営をされる方にはぜひ受講して

いただきたい講習会ですので、今後も引き続き企画してゆく予定です。

● J O A表彰の推薦について

今年度の J O A表彰は、12月2日(土)に全日本リレーオリエンテーリング大会の開会式の時に行います。

下記のwebに表彰規程が載っていますのでご確認戴き、推薦を戴ければと思います。

推薦締切 10月31日

送付先 J O A事務局 joa@orienteering.or.jp

参考：表彰規程 <http://www.orienteering.or.jp/joa/commendation.php>

● これからの講習会等

詳細は <http://www.orienteering.or.jp/event/> をご覧ください。

10/7-8 オリエンテーリングD1・D2級養成講習会 愛知県

11/18-19 コントローラ資格認定・更新講習会 埼玉県（埼玉県スポーツ総合センター）

12/9-10 インストラクタ養成講習会 徳島県

● ディレクター講習会（10月7-8日）

公平・公正で安全、そしてオリエンテーリングの特性を活かした活動を実現するために、指導員制度は根幹となるものです。このような社会から求められるものを実現するためのスキルと知識・見識を学ぶための機会がオリエンテーリングディレクター講習会です。

1級については、コントローラ講習で行われる地図・競技規則を免除した2日間で行います。また、1・2級とも、昨年夏と今年の夏に行われる大会運営講習会の受講者については一部内容を免除できます。受講料についてもその分割り引きます。

場所 愛知県青年の家（愛知県岡崎市美合町並松1-2）

受講料 20,000円

申込締切 9月25日